



立花洋一 ★ジャズピアニスト
Tachibana Yoichi

秋の夜のジャズタイム・・・「鍵盤の魔術師」が、
その圧倒的なテクニックで、軽やかに華やかにピアノを操ります。

Vol.10

しろくまイブニングコンサート

音楽のおもてなし

入場無料・全席自由

2018年 **10月5日(金)** 19:00 開演 (18:30 開場)
(20:15 終了)

古代から人々のそばに存在した音楽。
豊作を感謝して歌う 国の繁栄を祝って奏でる。
別れの悲しみも、出会いの喜びも、
音楽の恵みが人々を支え、もてなししてくれる。
時が流れても変わることのない音楽のおもてなし。
お届けする本日の逸品は・・・



白熊園では、日ごろの皆様への感謝の思いを込めてしろくまイブニングコンサートを開催いたします。どうぞお誘いあわせの上、お気軽にお越しください。

社会福祉法人白熊会

立花 洋一 (Tachibana Yoichi)

【活動略歴】

ジャズピアニスト・作編曲家

1959年福岡生まれ、わずか2歳半で母にピアノ、3歳で父にバイオリン、まさに生まれながらの音楽家。幼少からの即興演奏は、中高生時代になると大作曲家気分作品番号も記載した楽譜へと発展。

そんな、なかなか洒落た音楽少年の興味はとどまることなく学生時代の吹奏楽部ではパーカッションやドラムも経験。

さらにピアノを追及、九州交響楽団常任指揮者安永武一郎氏に支持、したのはよかったのだが、褒めてもらいたい一心の純粋な高校生は、安永氏をびっくりさせようと全く違う演奏家の弾き方をコピーして逆鱗に触れる、というエピソードも持ち合わせる。音楽のことしか考えられなかった青春時代だった。

クラシックの枠を飛び出して20歳で中洲ピアニストデビュー、さつそく若手実力派として名を馳せる。間もなく・・・部屋はグランドピアノに加えて、演奏料をすべてつぎ込んだシンセサイザーなどの鍵盤楽器の数々で足の踏み場もない、と巷では噂になるほど、音楽漬けの日々だった。振り返る暇もなかった、とは本人の言葉。

これまでアルバム、CMソング制作などオリジナル楽曲は1600曲以上。

- 作曲 - 「メガネのマツダ」「日産自動車」「ルナ24」「トータルビューティーワン」

- アレンジ - 「シャボン玉石鹸」「雲仙宮崎旅館」「KBCウキコホームセンター」「ヨウド卯光のど館」等、作編曲家、トップピアニストとしての地位を確立した今もなお、止むことのない追求心と努力は、やはりピアノを弾くために生れて来た、という言葉がぴったり。

左手ウッドベース右手ピアノ、ひとりデュオの圧巻プレイはそんな追求心の末の「立花洋一スタイル」、多くの人を魅了している。



田中 ひとみ (Tanaka Hitomi) ナビゲーター

音楽教室ペニーレーン主宰 個性あふれる演奏家のみなさんをお迎えして、演奏はもちろん、魅力的な生き方やお人柄もお届けできるように、色々なお話をお伺いしていきたいと思ひます。

【ホームページ】 <http://www.penny-lane-music.com>

<会場>

特別養護老人ホーム 白熊園内 しろくまホール
福岡市城南区別府 7丁目 5-45

<お問合せ>

社会福祉法人白熊会

TEL:092-831-8521

<ホームページ> <http://www.hakuyuu.or.jp>

